



「上五島の未来」

校長 古賀 巖

今、皆さんは「ふるさと教育」で上五島について様々なことを学んでいると思います。上五島の魅力の利用法や課題の改善方法など、自ら課題を見つけ、協働してその問題に対処する。それはこれからの社会で必要とされる大切な力です。そんな学習の中で、特に人口減少に対してどのような対策が考えられるのか。これは上五島の未来にとって非常に重要であり、急を要する大きな問題だと認識しているはずで、長崎県全体の自然減（出生と死亡の差）と社会減（転勤や進学など）による人口減少率も非常に高い状況にあります。新上五島町も令和4年2月で人口17,998人、9,602世帯。10年前の平成24年2月には22,599人、10,543世帯でした。人口が20%減少しているのです。若者の減少はそれよりもはるかに速く、上高生は令和3年4月には285名でしたが、平成24年4月には489名が在籍していたのです。40%の減少です。一人暮らしが増え、少子高齢化はさらに速い速度で進んでいるのが現状です。

この現象を止めるのは容易なことではありません。特効薬も存在しないと思います。しかし、このまま指をくわえて減少していくのを見ているのも違うと思います。この大きな問題に今も多くの人に取り組んでいます。私たち上高生も、一人ひとりの力は小さいかもしれませんが、やはりこの上五島に育ててもらった者として、できることを考え、少しでも貢献してほしいと思っています。

未来は明るく楽しいものだと思いたいものです。人の温かさ、土地の温かさを残しながら、これから先もずっと輝き続けるふるさとであるために、皆さんはこの上五島の未来にどんな明るく楽しい未来を創造しますか。

いよいよ新しい年度が始まろうとしています。学年も一つ上がり、自分の未来についてもう一度しっかり考えるときです。卒業式で「未来は若者からやってくる」と話をしました。ITやデジタル技術で様々なものが便利になると思いますが、やはり目指すところは「人と人」のつながりだと思います。未来を担う皆さんが、これから出会う多くの人とのつながりを大切にしながら、ふるさと上五島へ貢献し、未来を明るく照らしてくれることを期待しています。

■ 1学年より

この間入学したと思ったら、もう1年生が終わってしまった一生徒たちは最近よく言います。きっと保護者の皆様も同じように感じていらっしゃるでしょう。生徒たちはこの1年で大きく成長しました。来年度はいよいよ2年生。全てにおいて中核となる学年になります。学習や部活動に懸命に取り組み、一生の仲間となる友人に出会い、苦しい中でも充実した毎日を送れるのがこの高校時代です。気づいたら3年間が終わっていたということがないように、1日1日を大切にしていこう、という気持ちを、この時期にこそ新たにしてほしいと思います。1学年では、この春休みを漫然と過ごすことなく、生徒たちが自信をもって新学年を迎えられるように、様々な取り組みを実施しています。一人ひとりが自分の頭で考えて、充実した毎日を過ごしてください。最後に、この1年間保護者の皆様、地域の皆様にご理解とご協力をいただきましたことに心からお礼を申し上げます。来年度も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

■ 2学年より

3月15日（火）に2年生普通科進取の最終発表会が行われました。ここでは、69回生の皆さんが2年間かけて行ってきた探究活動の成果をポスターやスライドなど様々な発表形態で後輩、先生方、来賓の方々にプレゼンをしました。探究活動では、「答えのない問い」を班で設定し、その解決に向けて取り組みます。その中で、皆さんは同じ問題意識を持つ人たちと自分達なりの答えを見つけるため2年間日々奮闘してきたのだと思います。探究活動としての進取の時間は、最終発表会という形で幕を閉じましたが、来年度はいよいよ皆さん一人ひとりが進路実現を果たすための、高校生活3年間の中で最も大切な1年となります。進路を切り拓くのはほかの誰でもなく皆さん自身です。進路選択、進路実現においても探究活動と同じように唯一無二の「答え」はありません。色々な選択肢の中から自ら選択し、切り拓いていくしかありません。この探究活動で培ってきた力を3年生になってからも、いかに発揮してくれることを強く期待しています。とりあえず1年間お疲れさまでした。

■ 3学年より

「全てに感謝」

68回生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、卒業証書授与式に際しまして、お祝いや心遣い等を多くの皆様からいただき、本当にありがとうございました。さらには、この3年間、68回生の指導に際しまして、様々なご支援をいただいたことについても御礼申し上げます。

式当日、68回生は最高学年にふさわしい立ち振る舞い、さらには代表生徒による心のこもった答辞によって参加者の心を揺り動かしてくれました。3年前、当時の竹田主任が掲げた学年目標「Rockin' Party（心を揺さぶる集団）」にふさわしい集団になってくれたのだと、成長を感じました。ここまで育ててくださった全ての方々に、感謝いたします。



第68回卒業証書授与式



3月1日(火)第68回卒業証書授与式が行われ、99名の生徒が本校を巣立っていきました。

在学中コロナ禍のため、臨時休校や部活動禁止の時期があったり、さまざまな行事が中止や規模縮小となったりと、多くの困難に直面した学年でしたが、その困難をしっかりと乗り越え、たくましく成長した姿で式に臨み、創立70周年の掉尾を飾ってくれました。

NCCふるさとCM大賞準グランプリ受賞!



電気情報科の3年生4名が、課題研究の授業で一年間作成に取り組み、コンクールに応募したふるさとCMが、全体の2位にあたる準グランプリを受賞しました。

受賞作品と受賞者4名の喜びの声は、3月26日(土)15時30分から、NCC長崎文化放送の特別番組で放送されます。ぜひご覧ください。

お魚さばき方教室



3月11日(金)電気情報科1年生15名を対象に、お魚さばき方教室が実施されました。上五島水産業普及指導センターから大きな鰻を提供いただき、漁業士会の講師の方々の指導のもと、生徒達はさばき方を教わり鰻の刺身づくりに取り組みました。

はじめは戸惑いながらさばいていましたが、徐々に作業にも慣れていき、最後にはとてもきれいな刺身をつくることができました。

その後、生徒達はその刺身をととてもおいしくいただきました。

越前市主催「万葉の里短歌コンクール」優秀賞受賞!



国語の授業の一環で応募していた表記のコンクールで、電気情報科3年尾上龍馬くんの作品が、全国26,554首の応募作品の中から、全国2位に相当する優秀賞を受賞し、学校に賞状と賞品が送られてきました。

残念ながら卒業式の後に届いたため、全校生徒に披露することはできませんでしたが、尾上くんには就職前の慌ただしい時間を縫って学校に来てもらい、賞状と賞品を渡しました。

(受賞作)

大好きと言えない分だけ打ち込んだ

竹刀の音が響く道場

4月の行事予定

- 5日(火) 新入生オリエンテーション
- 8日(金) 1学期始業式 新任式 入学式
- 11日(月) 到達度テスト 各種検査
- 12日(火)～21日(木) 45分授業 面談週間
- 19日(火) 歓迎遠足
- 28日(木) 身体測定 新体カテスト



←上五島高校の最新情報はこちらから。または下のホームページアドレスまで。
ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>